一般社団法人
産業環境管理協会
会長賞及び
コラボレーション賞

伝統産業とリサイクル技術の「新結合」による廃家電由来100%リサイクル銅合金アップサイクル製品の開発と普及

株式会社ＨＡＲＩＴＡ（富山県高岡市）
有限会社モメンタムファクトリー・Orii（富山県高岡市）

受賞者らは、廃家電から回収した100%リサイクル銅合金を、伝統産業である「高岡銅器」の着色・加工技術と融合させることで、環境価値と高いデザイン性を兼ね備えたアップサイクル製品（コースター、箸置き等）の開発・普及に取り組んでいる。

従来、家電製品等から回収された銅合金スクラップは、主に汎用的な金属原料として再利用されてきた。そのため、資源循環の意義や再資源化のプロセスを消費者が実感する機会は限られていた。また、伝統産業の分野ではバージン材の使用が主流であり、環境負荷の低減や脱炭素化への対応が課題となっていた。

本取組では、（株）ＨＡＲＩＴＡが高度なリサイクルプラントを活用し、使用済み家電から純度の高い銅合金スクラップを回収・選別している。これにより、100%リサイクル原料として安定的に供給する体制を構築した。さらに、回収から製品化に至る工程を動画等で公開し、資源循環のプロセスを可視化するとともに、カーボンフットプリントの計測に向けた取組も進めている。（有）モメンタムファクトリー・Oriiは、高岡銅器に受け継がれてきた職人の技術を生かし、独自の着色技術とデザインによって、リサイクル材を高付加価値な製品へと仕上げている。これにより、環境配慮と意匠性を高い水準で両立させている。

本取組は、これまで活用が進みにくかった伝統工芸分野におけるリサイクル材の利用を実現したものである。また、伝統産業の技術と価値を組み合わせることで、従来の銅合金リサイクルに新たな需要と価値を創出している点が評価され、会長賞に相当すると決定した。加えて、リサイクル事業者と伝統工芸事業者という異業種の２社が連携し、それぞれの強みを生かして実現した取組であることから、コラボレーション賞にも該当すると決定した。



図１　使用済み家電製品由来の銅合金スクラップ（左）をアップサイクルしたコースター製品（右）



図２　アップサイクルのプロセス